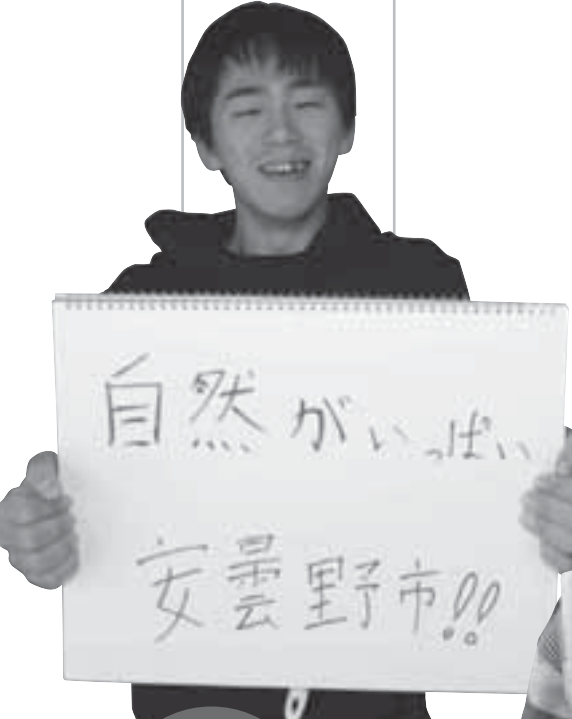
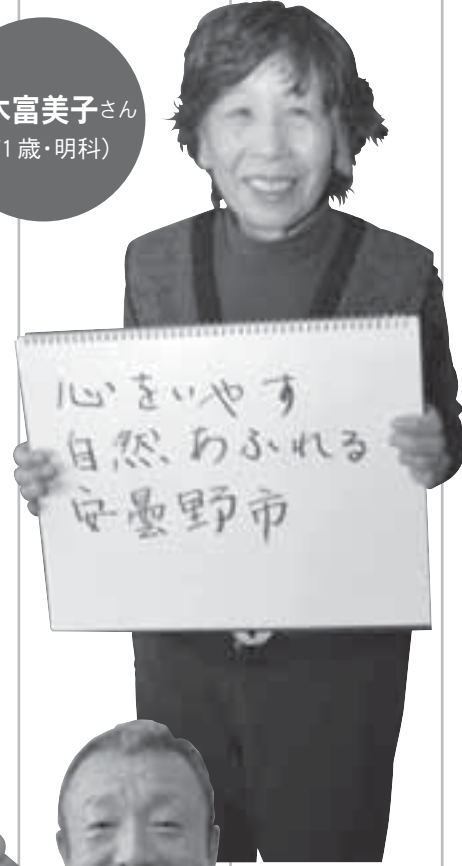


新春企画

青木富美子さん
(71歳・明科)



飯島智志さん
(23歳・堀金)



山崎正志さん
(59歳・豊科)



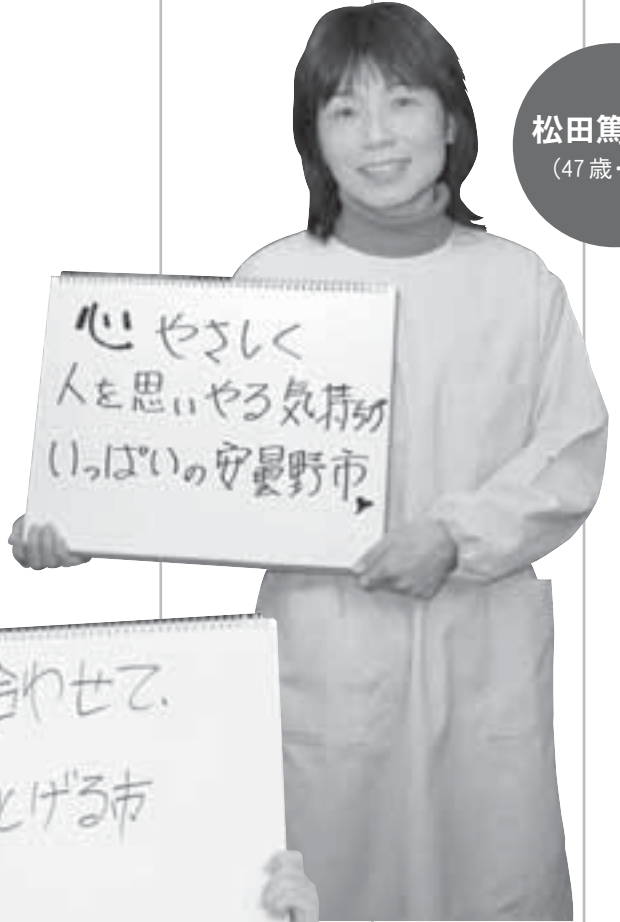
市が誕生して3カ月が経ちました。年が変わり、本格的なまちづくりがいよいよスタートします。今年の干支、いぬ年の市民5人の皆さんに、新市に描く夢と希望を聞きました。

いぬ年の 市民に聞く

新春安曇野市

どんな夢を描きますか？

松田篤子さん
(47歳・三郷)



藤原佑斗くん
(11歳・穂高)

市長年頭のごあいさつ

新年明けまして おめでとうございます

市民の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は5カ町村の合併により人口9万8千人を擁する安曇野市が誕生しました。市民の皆様のご負担に配慮するよう新しい地域社会を一步築き上げていかなければなりません。

安曇野市は、新市まちづくり計画にもあるように「地域住民に近い行政現場を大切に行政システムを推進し、本庁と支所を設置してまいります。各総合支所では、窓口業務だけでなく、住民に密着したきめ細やかな行政サービスを、住民の自主的な活動を支援しているところであります。今後も5つの地域の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えております。

本庁の在り方については、現在分庁方式を取らざるを得ない状況ですが、効率的な行政運営のためには、統合していくことが望ましく、全体の組織、機構を見直しながら、検討を重ねてまいります。

今後、さまざまな施策事業が展開されていくわけですが、新市まちづくり計画に沿って全市的な見地に立ち、逐次進めてまいりたいと思っております。

安曇野市のように、5つの町村が一緒になってやれる素地を持った地域は全国的にもまれだろうと思えますし、将来的に大変希望が持てる、発展する可能性を秘めているところだと思えます。早く5つの地域の一体感をつくること、また、住民と行政とのパートナーシップを築いていくことが急務だと考えています。市民の皆様との対話を重ねながら、将来への基礎的な自治体形成をするため渾身の努力を傾注してまいります。皆様のご支援をお願い申し上げます。

新しい年が、市民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう祈念いたします。年頭のごあいさつといたします。

安曇野市長
山本伸三郎